

機械器具(32) 医療用吸引器
管理医療機器 電動式可搬型吸引器(JMDN:36616030)

アスピレーター M20

【警告】

- 本器は必ず医師、または専門家の指導に従って使用してください。
- この装置は胸部排液や、手術室での使用には適していません。
- 複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに洗浄、消毒してください。
- 本体、吸引ボトル、部品、及びチューブは清潔な場所で保管してください。
- 病院・診療所等で使用されるときは吸引された液体は、生体物質用に準備された容器に廃棄してください。
- もし、吸引ボトルのセーフティバルブが作動せず吸引された液体が吸引器本体に流入した場合は、ただちに電源ソケットからプラグを抜いてください。
- 故障等により、ご使用になれない場合はすぐに医師に相談してください。
- 人体に挿入されるカニューレは入っておりません。もし必要とする場合は、医師または専門家に相談してください。

【禁忌・禁止】

- 安全のために、吸引ボトルや部品、または種々のチューブは当社指定の純正部品と交換してください。
- 器械は、気温10℃～35℃、相対湿度が30%～75%の範囲以内の環境で使用してください。
- 保存の環境条件は：室温-40℃～+70℃、相対湿度10%～100%、気圧500hPa～1060hPaです。
- 吸引ボトルやその部品のようなプラスチック製の部品を交換する場合には、プラスチック用の貯蔵所に廃棄しなければなりません。
- 吸引ボトルにたまった液体は、一日に一度は廃棄し、吸引ボトル及びチューブを洗浄してください。
- 装置を家庭で使用する場合には、吸引された液体は全てトイレットに廃棄しなければなりません。
- 一杯になった吸引ボトルを液体廃棄場所に運ぶには、常に十分な注意を払い、適切な基準に基づいて記述された指示に従ってください。
- この装置は液体の流入に対しては、防御されていません。
- 濡れた手で器械や電源プラグや電源スイッチを触れないでください。感電や、やけどの恐れがあります。
- 入浴やシャワー中に器械を作動させないでください。
- 器械がONまたはOFFであっても、液体を器械に注ぐことは絶対にしないでください。
- もし器械が、水やその他の液体の中に転落した場合には、器械に触れる前にまずコンセントから電源プラグを抜いてください。その後器械は使用せず、当社へ送ってください。
- 吸引された液体がこぼれないように、器械はテーブルまたは固い台の上においてください。
- 器械は電源スイッチがONの時は、毛布、布、クッションなどの上に置かないでください。
- 器械は配線が最近の安全基準にあった部屋でのみ使用してください。

- 器械の底面にある空気取り入れ用格子を塞ぐ事は絶対に止めてください。
- コンセントに電源プラグを差し込む前に、器械の側面にある銘板に記された電圧が主電圧と合っている事を確かめてください。
- 電源コードに損傷がある状態で、器械を使用することは絶対に止めてください。感電やけがの恐れがあります。
- 電源プラグをコンセントに挿入したままでは、決して器械をクリーニングしたり、お手入れしたりしないで下さい。
- 器械はたとえ保存中であっても決して逆さにはしないでください。常に上向きの作業条件と同じ状態に置いてください。
- 重要：もし器械をある程度の長い時間使用しないときは、〈貯蔵・保管方法〉に記述した条件のもとで保存してください。
- 空気や酸素を含んだ麻醉性ガスの存在下では、器械を使用しないでください。
- 器械を熱源から離れたところにおいてください。
- 子供が単独で使用する事は絶対に止めてください。必ず大人の方が使用してください。
- 器械が大人の監視下で使用されなければ、事故の原因になることがあります。
- チューブ、吸引ボトルなどに発生する真空中には充分注意してください。
- 製造者は器械の安全性、信頼性、性能に関して責任があります。ただし、それは器械が当社で修理された場合に限りです。
- もしユーザーがこれらの重要な注意書き、及び使用に関する指示を守らない場合には、製造者は責任を負うことなく、保証も適用されません。

【形状・構造及び原理等】

〈本体寸法及び重量〉

- ・ 本体寸法 : 220×220×220(mm)
- ・ 重量 : 2.9kg

〈電気的定格及び仕様〉

- ・ 定格電源 : AC100V,50/60Hz
- ・ 消費電力 : 210/160W
- ・ 電流 : 2.1/1.6A

〈構成〉

- | | | |
|-----------------|---|----|
| ・ 吸引器本体 | … | 1 |
| ・ 吸引ボトル | … | 1 |
| ・ シリコンチューブ(L・S) | … | 各1 |
| ・ 取扱説明書(保証書) | … | 1 |

取扱説明書を必ずご参照ください。

〈原理〉

- ・ピストン型ポンプ方式により、シリンダー内でピストンの往復運動によって気体輸送を行う容積移動式ポンプで、吸引容器内の吸引圧を調整し吸引を行う。

【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

- ・患者の痰、鼻汁等の分泌物を吸引する。

【使用方法等】

〈使用方法〉

- ① 吸引ボトルの蓋をしっかりと締め、吸引器本体に取り付けてください。
 - ② シリコンチューブ(L・S)を吸引器本体及び吸引ボトルにしっかりと接続してください。
 - ③ 使用する電源がAC100Vであることを確認し、電源コードを電源コンセントに接続してください。
 - ④ 電源スイッチをオンにしてください。
 - ⑤ シリコンチューブ(L)の先端を指でふさぎ、吸引圧調整ダイヤルを右(強)又は左(弱)に回して必要とする吸引圧に合わせてください。
- ※ 吸引圧は、吸引する部位や年齢によって異なりますので、必ず医師、又は専門家の指導に従ってください。
- ⑥ 吸引が終了したら、電源スイッチをオフにしてください。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ・器械及び部品は使用前の点検をおこない、異常がないか確認してください。
- ・器械は必ず一人で使用し、感染症の人に譲渡や貸与しないでください。譲渡や貸与しますと、病気が感染するおそれがあります。
- ・不適切な吸引は止めて下さい。治療の障害になるばかりでなく、事故にもつながります。必ず医師又は専門家の指導の下に使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

〔保管条件〕

- ・温度 : -40～+70℃
- ・湿度 : 10～100%
- ・気圧 : 500～1060hPa

〔耐用期間〕

- ※ 常温(23℃)で1日3回各5分間吸引した場合の目安であり、使用状況により変化します。
- ・吸引器本体 … 5年
 - ・吸引ボトル … 1年
 - ・シリコンチューブ(L・S) … 1年

【保守・点検に係る事項】

〈吸引器本体の手入れ〉

- ・吸引器本体の手入れには柔らかい布(ガーゼ等)を使用してください。又、中性洗剤等を使用する場合は直接洗わずに柔らかい布(ガーゼ等)に含ませ、良く拭き取ってください。

〈消毒方法〉

- ・吸引ボトルを分解し、セーフティバルブ、Oリング及びシリコンチューブを次亜塩素酸ナトリウム系の消毒液に漬け、その後水洗いし良く乾燥させてください。

※ 吸引ボトル、シリコンチューブ(L・S)は煮沸消毒、オートクレーブ滅菌(120℃以下)が行えます。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 : 株式会社東京エム・アイ商会

住所 : 東京都江東区平野3-2-6

電話番号 : 03-6458-5588

製造業者 : AIR LIQUIDE MEDICAL SYSTEMS S.r.l社

国名 : イタリア共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。